

第56回ブレイクスルー研究会議事録

「未踏プログラムとスーパークリエイター人材育成及び未踏出身起業家群像」

1. 日時：2018年7月17日（火）18時から19時50分
2. 場所：政策研究大学院大学4A研究会室
3. 参加者：9名
4. 講師：竹内郁雄氏（東大名誉教授、IPA未踏事業統括プロジェクトマネージャー）
5. 内容：（要約）
 - 1) 自己紹介
 - ・一般社団法人未踏代表理事
 - ・1969年東京大学理学部数学科卒業、
1971年日本電信電話公社電気通信研究所入所。（自然言語処理、LIPS言語処理）
1987年NTTソフトウェア研究所ソフトウェア基礎技術研究部グループリーダー。
1989年NTT基礎研究所情報科学研究部グループリーダー、
1994年NTTソフトウェア研究所広域コンピューティング研究部主幹研究員。
1996年論文「パラダイム融合言語の研究」により東京大学博士（工学）を取得。
1997年電気通信大学電気通信学部情報工学科教授。
2005年東京大学大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻教授。
2010年定年退職。2011早稲田大学理工学術院基幹理工学研究科教授。
2014～後進の教育にも注力しており、情報処理推進機構（IPA）の「未踏ソフトウェア事業」の統括プロジェクトマネージャーを務めている。
シリコンバレー訪問（学生指導）、JICAとの関係でエジプトIT人材育成。
 - 2) 未踏プロジェクト：
 - ・NTT研究所でゲリラプロジェクト（未踏の原動力）→TA0/SILENTの開発。
1990 日本PCソフト輸出入格差問題から未踏ソフトウェア創造事業で、人材問題。
（米国トップ100人プログラムに影響）
 - ・2000 日本独自の「未踏ソフト創造事業の発案」5年で100人のスーパークリエイターの育成目標。
日本では難産。日本版バイドール法の追い風。ミレニアムプロジェクト（萩原通産省課長補佐等）。11月頃開始。
 - ・特色：①権利は採択者に帰属、②採択や予算はPMの個人裁量、③ソフト開発者は起業ではなく、個人またはグループ、④成果物本位制（良いソフトは一般公開）、⑤すべての費用を人件費とする、
⑥年度内契約（短期勝負）
 - ・公募制：
現在は、25歳未満（これまで累計1500名）、20名から30名／年、応募の様式は、A4で8から15ページ、PM6名で審査、採択案はPMが指

導／助言、PMの分野は様々（現在は任期なし）。

・採択後いくつかの改良：

- ①若手対象にシフト（25歳未満）
- ②PMとの合同合宿／会議、③PMはPJの内容に深く関与、PM任期なし、④9ヶ月で成功させる支援、⑤とんがりを引き出す。

*IPA情報処理推進機構「未踏スーパークリエータ」

○一般社団法人未踏

一般社団法人未踏（以下 Mitou Foundation）は、経済産業省所管の独立行政法人情報処理推進機構（以下 IPA）の事業である未踏事業のOB/OGを中心に、創造的人材を多角的に支援し、業界横断的なネットワークをつくることで、ITを中心としたイノベーションを加速することを目的に設立された社団法人。20世紀末に発展を始めたIT産業は、21世紀には電話・自動車・金融・労働形態から社会インフラ全体まで、あらゆる産業や社会構造を大きく変革しつつある。世界ではその大きな社会変化に対する将来を担う人材へのニーズが高まっている。しかしながら日本ではそのような人材への支援環境はまだ十分であると言えず、人材や技術の流出・埋没を止めるためにも21世紀型のイノベーションの創出を担う創造的人材が活躍できる仕組みづくりが急務となっている。

Mitou Foundationでは、上記の課題を解決すべく延べ1600名のIPA未踏事業卒業者を中心に、天才的かつ創造的な人材のネットワークを形成するための組織として、強力な外部理事の協力を得て設立された。イノベーション創出に関心のある著名起業家・研究者や大企業も巻き込みながら、個々が創造性を最大限に発揮出来る環境を整えることで、日本から世界に向けて社会的・経済的にインパクトのあるイノベーションを数多く創出していく日本型イノベーション・エコシステムの構築を目指している。具体的な事業として、主なフォーカスを下記3つのコア事業に当てて活動していく予定。

人材発掘交流、創造的人材の発掘、育成、交流、および企業とのマッチング、知的・学術的探求の場の提供等

○未踏事業と未踏スーパークリエータについて

IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）では、ソフトウェア関連分野で優れた能力を有する若い逸材を発掘・育成することを目的に「未踏ソフトウェア創造事業2000年度～2007年度」および「未踏IT人材発掘・育成事業（2008年度以降～現在）」を実施している。「未踏スーパークリエータ」は、毎年度の事業終了時点で担当プロジェクトマネージャー（PM）が特に優秀であると評価したクリエータを候補者として選出し、第三者機関である審査委員会の審議を経て、IPAが認定している。2004年度からは、IPAの実施するイベントに

において「スーパークリエイター認定証授与式」を執り行い、その榮譽を称えており、現在、2017年度分までの認定が行われ、311名の「スーパークリエイター」を発掘・育成している。

3) 今後 :

①未踏アドバンスト (2018年本格化、テクノロジー+経営センス人材育成)

②未踏ターゲット (量子コンピュータ等次世代コンピューティングの利用課題解決)

③未踏ジュニア (小中高生、高専生等)

4) 未踏プロジェクト卒業生起業家群 :

①起業家 :

- ・ 鶴飼祐氏—Microsoft, 英国キングスカレッジを経て文科省。

「水中ロボットを用いた水泳教育支援システムの研究開発。」

- ・ 本多達也氏— (富士通/Ontenna)

「髪の毛で音を感じる」。その一見不思議なアイデアが、ろう者の生活を一変させる」

- ・ 神武里奈氏 (こうたけりな)—DeNa

「ユーザの好みを反映したメイク手法推薦システムの開発」

- ・ 竹内理人氏 (東工大→産総研→Yahoo)

「集団運動・動物行動の解析ソフトウェアの開発」

*参考 : 企業家

- ・ ニュースアプリ : グノシー (福島良典氏、竹谷 祐哉氏) / スマートニュース (鈴木健氏)

- ・ AI関係 : プリファード・ネットワークス (西川徹氏、岡野原大輔氏) / ABEJA (岡田陽介氏、緒方 貴紀氏)

- ・ ビッグデータ : トレジャーデータ (古橋貞之氏)

- ・ ロボットソフト : アスラテック (吉崎航氏)

- ・ 通信サービス : ソフトイーター (登 大遊氏)

- ・ クリエーターサポート : UUUM (尾藤 正人氏) 等

②アカデミア :

- ・ 石丸 翔也氏 (ドイツ人工知能研究センター)

「心の状態が見える化!? 心温計の開発」

- ・ 奥村貴史氏 (北見工業大学、医師)

「エンドホストにおける汎用ネットワーク制御機構の研究開発」

- ・ 荒川豊氏 (奈良先端科学技術大学院大学)

「SenStick (BLE 搭載マルチセンシングボード) の商品化」

・蜂須賀恵也氏 (東京大学)

「ハードウェアの支援による高速な大域照明レンダラーの開発」

○未踏出身者のコミュニティーの仕組みー八合目会議、未踏会議、未踏サロン等

(文責：主査 旭岡勲峻)

*は検索追加説明